

平成28年度 事業者向け放課後等デイサービス評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		限られた空間ではあるが、年齢別・レベル別のスペースを作り支援を行う努力をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		躓きやすさ足などの見られる利用者に関しては段差等の注意と歩行の訓練を行い防止に努めている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎週1回のケース会議、モニタリング評価実施。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		平成28年度より実施開始の為、今回の評価にて業務改善につなげる
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			毎年他県（熊本、東京）より外部施設者を招き、研修と評価及び連絡会を実施している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			独自のアセスメントツールに合わせ来年よりWISC-IV等を使用しアセスメントを実施（外部心理士依頼）
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎週1回のケース会議、モニタリング評価実施。

	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎週1回のケース会議、モニタリング評価実施。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼と終礼の実施。支援前のミーティングを実施してはいるが、ご家族への伝達に関して再度、確認事項などの伝達方法を改善していく。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			毎週1回のケース会議、モニタリング評価実施。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○		基本活動に加え、独自の活動内容と計画に基づき活動している。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		担当者会議の参加要請は少ないが相談支援事業所とのやり取りは児童発達支援管理責任者が全面的に行っている
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校側から月報などを送付しており、各行事などにも参観させて頂いています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケア（与薬等）が必要な場合はお薬手帳など与薬指示書を頂けるように保護者へ促している

	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		情報提供書の要請とすこやかファイルの活用を行っている。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		対象児童は平成28年度卒業生からおり、今後の連携の為、準備している。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		北ネット等の会に参加している
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		ふれあい館でのキッズダンスや図書館利用など交流の機会を設けている
	㉔	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか			○	
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			4か月に1回、個別面談を1週間の期間儲け実施している。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		専門職の確保が難しい為、看護、介護、理学療法、保育の各専門員が出来る限りの相談支援を行っている。
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		専門外(心理的、医療的)な相談については適切な相談が出来ていない。
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		昨年より家族参加での年末行事を行っている。父母会については、ご家族の負担等も考慮し個別相談を実施。事業所側の伝達とご家族との連絡相談の場を設けております。今後、父母会等の設立要望を多数のご家族から承れば検討する。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		当日もしくは翌日までには対応、対策を挙げ保護者へ連絡対応をする様に努力している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		職員には入社時及び半年に1回定期的に全体研修を行い、周知徹底を行っている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		今回の評価結果では事業所側からの情報伝達に関しご意見があったことから、初期契約時の伝達マニュアルを作成し十分な情報伝達が出来る様努力する。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		職員には入社時及び毎月、全体会議を行い、周知徹底を行っている。保護者周知に関して、各マニュアルをホームページ上に記載する予定。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		昨年度から計画的な避難訓練等を行っている。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		職員には入社時及び半年に1回定期的に全体研修を行い、周知徹底を行っている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束に関しては完全に禁止(窓、玄関の鍵も含む)を実施している。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		初期受け入れ時にご家族へ確認をしている。(フェイスシート記入項目あり)
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		